

＜１０月１０日の打ち合わせの際に、被告人の妻岩川良子が弁護士に話した内容＞

哲とは、平成２９年１０月頃、彼が働いていたお店に客として行ったことから知り合いました。その後、私が告白してつきあうようになり、しばらくして妊娠していることがわかったんで、１２月２４日に入籍しました。はっきりいって、うちの両親は結婚にはどちらかといえば反対でしたね。哲も両親とは絶縁状態らしくって、そんなこともあり、特に結婚式をあげたりはしていません。まあ、お金がなかったというのもあるんですけど。

それから、８月２０日に、女の子が生まれました。美月（みつき）っていいです。もともと女の子だった場合に二人で考えていた名前です。

でも、まさか、生まれた当日にこんなことをしているなんて思いもしませんでしたよ。

哲は、仕事ぶりは真面目でしたし、格好よかったですよ。私も彼の働いてる姿に惚れちゃったくらいですから。常連の客もたくさんついているようでしたよ。

哲は、人当たりもよく友達も多い方だと思うけど、私に言わせれば、ちょっとお人好しすぎるね。やさしいといえばやさしいんだけど、どちらかという気は弱い方かな。私がどちらかという気が強く、はっきりものを言う性格なんで、時々見ていて、いらいらすることもあるんですよ。

哲は、普段はやさしくて暴力を振るったりすることはないんだけど、お酒を飲むと、横柄な物言いをしたり、物にあたりちらしたりするのだけは勘弁してほしい。はっきりいって、酒癖、悪いです。

それから、私のことですけど、結婚後も、他のお店で働いていたんですけど、つわりがひどくって。だんだん、お腹も大きくなって働くのがつらくなってきたので、平成３０年２月頃に仕事をやめちゃいました。

もともと哲の収入ははっきりいって少なかったんで、私の収入がなくなると

生活は苦しくなっちゃいますが、哲は、お前と生まれてくる子供のために、もっともっと仕事をがんばるから、お前はがんばって元気な赤ちゃんを産んでくれと言ってくれたんですよ。仕事以外の時には、どちらかというとな頼りないんですけど、このときにはすごく頼もしく見えて、うれしかったなあ。

哲には、別れた奥さんとの間に二人の子供がいて、毎月養育費として4～5万円を払っていると聞いてました。自分のとこの生活もギリギリなんで、私としてはそりゃ、あまりいい気はしませんでしたよ。でも、私もバツイチであることがわかっていて結婚したのですから、まあしょうがないと思っていました。

でも、さっき、弁護士さんから話を聞いて、養育費を払っていたというのは実は嘘で、その分のお金は、実はサラ金の借金返すのに充てていたんですね…。借金があることだって、初めて聞く話だし、ショックです。それならそうとちゃんと言ってほしかったです。

結婚した後は、哲から渡される給料を含め、家計は全て私が管理していました。

今回、平成30年3月のはじめ頃に哲が仕事をクビになったと聞きましたが、私にはそんなことは言ってくれませんでした。ちゃんとこれまで通り、出勤してたし…。

平成30年2月に私が仕事をやめた後は、少しずつだけど、哲から渡される給料は増えていたんですよ。3月以降もそうでした。私は、以前に言ってくれた通り、仕事をがんばってくれているのだなと思っていました。私が、「もうすぐ家族増えたらもっとお金かかるんだから、がんばってよね!」と口癖のように言っていたのが、プレッシャーだったのかな…。

私は、平成30年7月に入り、お医者さんから、早産のおそれがあると言われて、島根の実家に戻るようになりました。実家に戻った後も、哲は、ほとんど毎日電話をかけてきて、体の調子はどう?と心配してくれてました。

ただ、何回かは電話で話した際、夫がお酒に酔った様子だったので、私が文

句を言ったら、哲は、ちゃんと給料増えてるんだし文句言うなとか言っていたことがありました。今にして思えば、この時にも無銭飲食をしていたのかもしれないですね。

今回の件では、お店には大変な迷惑をおかけしてホントに申し訳なく思っています。お店に対しては、謝罪に行きたいと思っています。

弁護士さんを通じて、弁償もしたいと思っています。

哲は私に対してこれまでたくさんの嘘をついて来たことがわかってすごくショックでした。あげくのはてにこんな情けない事件まで起こして、正直裏切られたって感じですね、一時は本気で離婚も考えましたよ。私の両親はかんかん怒っており、名古屋には絶対に帰さないと言っていました。ただ、一度きちんと哲に会って話をしないと行けない思い、両親を説得して名古屋に来たんです。

哲に久しぶりに警察署で面会した時、「お前をだますつもりはなかった、妊娠してつらそうにしているお前に心配かけたくなかったんだ、でも、結局お前には大変な迷惑をかけてしまった、本当に申し訳ない、お前の夫として、そして生まれたばかりの子供の父親として、恥ずかしくない人間になるようがんばるから、もう一度チャンスがほしい」って言って、何度も頭を下げて号泣している哲を見ていて、すごく反省してると思いました。それに、どこか夫に似たこの子の寝顔を見ていると、やっぱり今度だけは夫を信じてみようと思います。

両親は今でもかんかん怒ってて、今からでも遅くないから別れて戻ってこいと言われてますけどね。

でも、もしも夫が刑務所に行くことになってしまったら、私と生まれたばかりのこの子はどうなっちゃうのか、心配で心配でたまりません。この子が父親の顔も知らないまま育ってしまうのかと思うとかわいそうで、寝顔を見ていると涙が止まらないです。

もともと哲は子供好きだし、生まれてくる子供のことをいつも楽しみにして

たので、きっといい父親になってくれるし、私とこの子のためにがんばってくれると今は信じています。

今回のことは、哲が私に言いたいことがいえず、ストレスをため込んだことにも原因があると思うので、その意味では私も反省しないといけないと思います。これからは、お互いに言いたいことを言い合えるように、悩み事なども、聞いてあげられるように心がけていきたいです。それから、お酒については、哲があまりストレスにならない程度に、折に触れて極力控えるように注意していこうと思っています。

弁護士の先生、どうか一日も早く、哲が家に帰れるようにしてください。早くこの子を抱かしてやりたいです。

以上